

令和6年度 職員向け 事業所自己評価 集計結果

公表日：令和7年3月3日

職員11名全員から回収

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	6			・利用人数が少ない時の方が落ち着き子どもがいる。 ・静かな個室で個別支援をしている。	・制度上は適切であるかもしれないが、運動的なものに使われると、活動の場が足りなくなる。 ・利用者の人数によっては、個別の対応をするには、スペースが足りないこともある。
	2 職員の配置数は適切であるか。 職員1人に対し、利用者2人を超えないようにする。	9	2			・利用人数、子どもの実態に応じて、日々の職員の人数をチェックし、朝の打合せで、個別支援を確認している。	・スタッフの急な欠勤に対応できていない不安がある。 ・一対一で対応したり、迎えに出て行くと、2人を越えてしまう時がある。 ・基本的に対応できる職員数であるが、長期休みなど非常勤職員に長時間の追加勤務をお願いしている。
	3 生活空間は、子どもがこの部屋で何をするのか分かるように整えられ、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3			・遊具、段ボールなど目的に応じて、活用・使用できる場が提供されている。	・他の子どもやスタッフが何をしているか把握できない時がある。保健室や相談室にこもると開けていいかどうか困る時がある。
	4 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3			・相談室、離れの個室など、個別対応ができる空間が整っている。 ・静かな環境を好む、一人になりたい時は、相談室を使っている。	・なるべく対応できるようにしているが、利用者の人数などによっては、十分な対応が難しいことがある。 ・利用人数が多いと、個室で過ごしたい子どもが個室を使うことが難しい時がある。 ・離れを有効に活用できる支援を考える必要あり。
業務 改善	5 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		1		・評価の振り返りを、全職員で行っている。	
	6 保護者向けにアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	11					
	7 職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			・「朝の打ち合わせ記録ノート」があって、ありがたい。 ・スタッフ会議や朝の打ち合わせ、帰りの会の後で、情報交換や意見を伝え合う場を設けている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	2	8	・クリスマス会など、第三者評価委員会の方にお越しいただき、子どもの様子や職員の支援の実際を参観していただいている。	・外部評価を生かした支援や業務改善が十分とは言えない。 ・外部評価を行っていない。 ・直ぐにと関わらないが、外部評価委員の人選を検討すべき。
	9 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	10			1		
	10 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	4	1		・施設内研修を随時している。	・スタッフ会議の効率化を計り行えばよいと思う。 ・年間の研修計画を立てて、計画的に進める必要がある。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援や放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか。	10			1		
	12 児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	3				・スタッフ会議等で共有化を図っているが、非常勤職員も個に応じて仔細の情報の共有化を図る必要がある。 ・子ども、スタッフ、その時々状況が毎日違うので、たとえ計画を意識しても、実際に支援できるかと言えば簡単ではない。

適切な支援の提供	13	子どもの適応行動の状況を適切に把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	1		4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			1			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			1			
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	10	1				・家庭と連絡をとり、個々の課題を決めて支援している。	・担当を決めて課題づくりや支援に当たっているが、成果の検証が必要である。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援や放課後等デイサービスの個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		1			
	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	8	2		1		・支援終了後は、口頭で情報共有をし、翌日の打合せで改めて周知したり共有したりしている。	・日々の支援の確認・振り返りは、利用者の状況により、できる時とできない時があると思われる。
	19	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5		2		・その日の帰りの会の後、または翌日の朝の打ち合わせで支援の改善の具体を確認している。 ・アンケートをとったり、気付いたことは口頭で伝えたりしている。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1					
21	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画の見直しを図っているか。	11							
22	ガイドラインの総則の*注1「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9				2			
関係機関や保護者との連携	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			1			
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		6			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	2	1	5		・情報交換については、適宜行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		1	7	3			
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	1	7		・連絡がある場合は、参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っているか。	11						
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して*注2ペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	1	2	3	5			・直接ペアレントトレーニングの支援は行っていないが、保護者向けの研修などあれば、配布している。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10	1					
	32	*注3 父母の会の活動を支援したり、*注4 保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		2	7	2			・保護者会の開催はなかった。 ・保護者の参観の折など、1～2時間見ているだけでなく、ほんの少し参観してもらう工夫があってもよいと思う。 ・保護者の意向（会があればよい。なくてもよい。）がまとまっていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	2		1			
	34	定期的にお便り等を発行することや、HPやSNSを活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11						
35	個人情報に十分注意しているか。	11							

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	11				・クリスマス会に第三者評価委員の方や町内会長等地域の方を招待し、子どもの様子や職員の実際の支援を参観していただいている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	7	4				・保護者に周知されていないものもある。 ・マニュアルの周知については、完全とは言えない。
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11				・年間計画に基づき、地震や火災などの避難訓練を計画的に実施している。 ・消防署員の出動、消火訓練、引き渡し訓練を実施している。	
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	1			・個人的に不足しているので確認させていただきます。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4	3		・毎年、保護者アンケートで確認している。 ・重大な食物アレルギーの利用者はいないので、保護者からの確認のみと思われる。	・アレルギーについては知っている。指示書があったら知りたい。
	42	安全管理が十分にされた中で、支援が行われているか。	10	1				
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	2				
	44	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2		2		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	1	3	6		・今後対応していく。 ・当該利用者の保護者と事前に対応について十分に話し合い、適切な対応ができるよう努める。 ・同意書を準備する等して、対応の具体の共通理解を図る。 ・身体的拘束が必要な児童はいるか、どのようにするか、記載しているかなど確認したい。

注1 自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供

注2 保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶ事により、子どもの行動変容することを目標とする。

注3 親が自分たちで計画・運営する。

注4 親の交流や活動の支援などのため、ゆうゆう側で計画・運営する。